

各常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会各分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

総務企画

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

【3月会議】

委員会付託 ・ 議案14件
分科会分担 ・ 議案7件

◆委員長／木下 美也子 ◆副委員長／高橋 正浩
◆委員／西川 英伸、山崎 智之、永崎 陽

主な審議内容

【議案第84号】

3月会議

令和7年度 七尾市一般会計予算

◆消防職員の(仮称)改善委員会について

- ⑨離職を防ぐため、人間関係の悩みや軋轢などの問題を改善や対策する委員会が必要では。
- ⑩職員が言いたいことを受け止められる環境作りとして(仮称)職員改善委員会を4月に立ち上げる予定。
- ⑪寄り添った対応がどこまでできるのか。独立した組織の中では自浄作用が発揮できないと考える。市の事務系職員や外部人材としてアドバイザーなどの配属が有効的では。
- ⑫声を出せるような形にするにはどうすればいいか、職員自ら話し合った上で、前向きに検討したい。

◆DXアドバイザーについて

- ⑬果たして本当に有用なのか。
- ⑭市の政策課題の解決に向けて、DXの視点から、各課に提案や助言等を行うため、令和5年度から委嘱している。令和6年度の主な活動として、職員向け生成AI研修が成果として挙げられる。
- ⑮研修後のアンケート調査は、アドバイザーを特に必要としないという声が多く、職員が調べてやればできる範囲のことをわざわざ専門的な方が研修する必要性はなく自己研鑽で賄えるのでは。
- ⑯いただいた意見など共有し、ステップアップした取り組みに期待し、アドバイザーを継続したい。

教育民生

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

【3月会議】

委員会付託 ・ 議案9件
分科会分担 ・ 議案12件

◆委員長／江曾 ゆかり ◆副委員長／原田 一則
◆委員／和田内和美、山添和良、木下敬夫、中西庸介

主な審議内容

【議案第84号】

3月会議

令和7年度 七尾市一般会計予算

◆部活動指導員について

- ⑨部活動指導員の役割や処遇を伺う。
- ⑩部活動指導員は、大会等の引率であったり、試合のベンチに入って指導を行えるものである。これは教員の負担軽減を図ることを目的としており、県の補助事業である。報酬額としては、1時間あたり1,600円である。

- ⑪部活動指導員の人数の枠はあるのか伺う。
- ⑫毎年秋頃に県から要望調査があり、その際に各中学校に部活動指導員の打診を行い、その報告した枠となっている。この部活動指導員は、平日及び休日の指導、引率など、教員が行っていた顧問としての職務を担うものであり、責任も伴うため、外部コーチから部活動指導員への移行がなかなか進まない状況である。

産業建設

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

【3月会議】

委員会付託 ・ 議案3件
分科会分担 ・ 議案11件

◆委員長／佐藤 喜典 ◆副委員長／瀬戸 三代
◆委員／山花 剛、徳田 正則、垣内 武司、今田 勇雄

主な審議内容

【議案第84号】

3月会議

令和7年度 七尾市一般会計予算

◆合宿等誘致事業費について

- ⑨和倉温泉運動公園の多目的グラウンドやテニスコート、能登島グラウンド利用再開の見通しを伺う。また、利用再開までの間、合宿への補助金であるこの事業費はどのような計上となるか。

- ⑩和倉温泉運動公園の多目的グラウンドは令和8年度末、テニスコートは令和7年度末、能登島グラウンドは令和7年度末に利用再開予定である。合宿への補助金は前年度と比較して大幅に減額しているが、アカペラサークルなど、文化系サークルの活動への補助実績もあることから、今回の43万9千円の計上となった。